

青森県立保健大学広報誌 活彩！保健大学だより

# Campus Magazine

vol. 50

2022 秋

看護学科



理学療法学科



社会福祉学科



栄養学科





### 看護学科 1年

### 佐野 杏奈さん



みなさん、こんにちは。看護学科1年の佐野杏奈です。あずまし寮には全学科の1年生と、2年生のレジデントアシスタントの先輩方が共同生活をしています。私は人見知りなので、最初は寮で生活するという事に不安を抱いていました。しかし、寮生活を通して様々な学科の多くの人と友達になることができ、今では楽しい生活を送っています。部屋は2人部屋ですが、カーテンで仕切ることができるので、一人の時間も確保することができます。また、生活するうえで困ったことがあったときは、すぐにレジデントアシスタントの先輩に相談することができるのでとても心強いです。人との交流が難しいコロナ禍だからこそ、あずまし寮へ入寮し、多くの人と楽しく共同生活をしませんか。

### 理学療法学科 1年

### 篠崎 佑介さん



皆さんこんにちは、寮生活についてほんの少し説明したいと思います。寮では、2人1部屋でシャワー、キッチン、洗濯機、トイレ、冷蔵庫など共用物が多いのが特徴です。また、寮は大学内にあるので、移動はとても便利です。さらに、他の寮生も住んでいるので、寂しさや大学に対する不安は、一人で抱え込むことなく毎日楽しく過ごせるかと思います。ただ、悪いところとしては、一人になれる時間が減る、湯舟に入れない、また共用物を使う際、自分の好きなタイミングで使うことができないなどが挙げられます。しかし、何か困ったことがあったら相談できるので、基本悩み事とかは大丈夫かと思われます。ぜひ、楽しい大学生活を1年間、多くの仲間とともに過ごしてみませんか。

### 社会福祉学科 1年

### 熊谷 桜希豊さん



どうも皆さんこんにちは。社会福祉学科一年の熊谷桜希豊です。私は現在大学敷地内にあるあずまし寮で生活をしています。ここでは、様々な学生と生活を共にすることができます。入寮したての頃は、ほかの寮生と上手くやっていたか不安だと思います。私も初めは不安を感じながら生活をしていましたが、今ではくだらないことで笑い合う楽しい毎日を過ごすことができます。寮は二人部屋で男子は定員16人と少ないため、アットホームな雰囲気です。みんなでカラオケ、温泉、外食に行ったり、夕飯を作って食べたりしました。原則一年生しか入れませんが、ぜひ入寮のご検討宜しくお願い致します。待ってるよ (\*^-^\*)

### 栄養学科 1年

### 渡辺 茉那さん



私は、交友関係を広めたいという思いから、寮に入寮しました。入りたての頃は、自分で家事を行えるかということや、他の寮生と仲良くなれるかなど、たくさんの不安がありました。しかし、寮に入寮した人たちは、みんな初めて親元を離れ不安を感じていて、だからこそ励ましあったり助け合ったりして、とても頼もしい存在になりました。また、寮ではたくさんの人たちとの関わりがあるため、新たな視点に気づくことができたり、様々な考え方に触れることができます。何よりも家に帰った時に「おかえり！」を聞くことができたり、「ただいま！」を言える相手がいるということに嬉しさを感じます。様々な人との関わりを増やしてみたい方は、ぜひ寮生活考えてみてください！



## 寮長 看護学科 2年

横関 汰一さん



みなさんこんにちは！僕は普段、勉強やバイト、時々ほかの寮生とくだらないことをしながら楽しく生活しています。寮内には他の学科の学生も一緒に住んでいるので、普段の学校生活とは少し違った気持ちになることができます。一人暮らしとの違いの一つとして、平日と土曜日の朝7時に点呼と掃除があるので、規則正しい生活を送ることができます。また、新型コロナウイルス感染症の対策として、マスクの着用や定期的に手指消毒を行っています。また、寂しくなっても共有スペースに行くと必ず誰がいるので安心です笑。そんなあずまし寮がどんな雰囲気なのか、具体的な寮の設備、ルールなどを知りたい方はぜひオープンキャンパスなどで遊びに来てください！！

## 大学祭



### 大学祭実行委員長 看護学科3年 工藤 帆乃佳さん



2022年度青森県立保健大学大学祭、テーマ「for U」が10月8日(土)、9日(日)の両日開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が危惧される中で、今年は2年ぶりに大学祭を開催できましたこと、大変嬉しく思います。

大学祭テーマ「for U」には地域の皆様、そして学生の皆さんにとって楽しい時間となりますよという願いが込められています。私たち実行委員は夏休みから本格的に活動を開始し、皆様に少しでも楽しんでいただけるよう工夫を凝らし出店、ステージ企画の準備を進めてまいりました。屋台ではたくさんの食べ物が並び、ステージ発表では各サークルが歌やダンスなどを披露しました。また、保健大学らしさを出すために、クイズやおかず味噌汁の提供などヘルスリテラシーにも力を入れた企画も行い、多くの方に楽しみながらヘルスリテラシーに触れていただくことができたと思います。当日は天気にも恵まれ、たくさんの方にご来場いただき、大きな盛り上がりを見せ大学祭を無事に終了することができました。

2年ぶりの開催ということもあり、運営に携わる学生は初めてのことが多く力不足な面もございましたが、この大学祭を成功に収めることが出来たのは多くの方のご理解、ご協力があったことだと思います。ご協力頂いた皆様、そしてご来場頂いた皆様本当にありがとうございました。

オープンキャンパスは、保健大学への入学を目指す皆様に、ホームページや大学案内では伝えきれない教育や研究などを体験的に理解していただくため、毎年開催しています。

昨年度に引き続き、参加人数を制限した事前申込制（今年度は午前・午後の2部制）、検温や各ブースの入場制限など感染症対策を徹底したうえで開催し、当日は悪天候にもかかわらず、多くの方にお越しいただきました。

オープンキャンパス終了後のアンケートでは、「設備が充実していた」、「学科のことや入試のことなど、自分が知りたいと思っていたことを知ることが出来たため、参加してよかった」、「学生の方が親身に話を聞いてくれて、また、様々な体験がとても面白く、とても勉強になり、モチベーションが上がりました」などの声が寄せられました。

模擬講義や体験・見学コーナー、相談コーナーへの参加を通じ、本学での学び、及び保健・医療・福祉の専門職についても理解を深めていただけたようでした。

# OPEN CAMPUS



看護学科

理学療法学科



社会福祉学科

栄養学科

8月9日(火)に  
「オープンキャンパス2022」  
を開催しました

## 保護者等（後援会）懇談会



10月8日(土)に後援会「保護者等懇談会」をオンラインで開催し、全体会46名、学科別プログラム42名、個別相談14名の保護者等の皆様に御参加いただきました。

今年度は、オンライン開催の利点を存分に活かし、山梨県に出張中の学長からの挨拶、大学祭実行委員の学生による大学祭実況中継、各学科の動画紹介など、多彩なプログラムを実施しました。

また、学部長及び学生部長からは、コロナ下における学生の学びや活動の状況について、ホームページ掲載の情報や画像等も用い、より具体的にお伝えしました。

本学の教育研究活動及び学生支援の在り方について、保護者等の皆様と共に考える貴重な機会となりましたことに深く感謝申し上げます。

全体会の様子は、本学ホームページからも動画で御覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=Wv3dBI5ancY>



大学から配信の様子  
左側から神成学部長、太田後援会長、児玉学生部長



学会出張中（山梨県）の吉池学長から挨拶配信



大学祭を紹介する大学祭実行委員会  
松本広報・外部部門長

# 保健大学の With コロナ の取組

## 講 義

本学では新型コロナウイルス感染症対策として、講義室前での手指消毒の徹底や定期的な教室の換気、密を避けるため広い講義室での授業等に努めるほか、状況に応じて遠隔授業を行っています。

また、体調不良により欠席した学生は出席停止とし、出席停止解除後に所定の手続きをすることで授業等の学習保障を行っています。

臨地実習に制限はありますが、感染対策を徹底し、原則、対面授業を実施しています。



## 学 生 支 援

本学では、「新型コロナウイルス感染症対策学生支援窓口」を設置し、学生からの生活等の相談を総合的に受け付けています。

また、学生の食の支援として、株式会社城ヶ倉観光様の御協力及び日本学生支援機構の一部助成を受け、のべ800名の学生に2,000円分の学食・売店の食事・食料品引換券を配付しました。

さらに、学外実習の支援として、新型コロナウイルス感染症の影響により新たに負担が生じた宿泊料等に対し1泊5,000円を上限に助成し、令和2年度より累計83名の学生が支援を受けています。

そのほか、JAグループ青森様から346名の学生に、八戸市の精米会社・株式会社ライケット様から247名の学生に、それぞれお米の寄贈があり、配布を実施しました。



お米贈呈式に参加した学生たち

## 就 職 支 援

WEB面接やWEB説明会など、オンラインによる就職活動を支援するため、通信機器や照明器具などを備えた部屋を設け、安心して就職活動ができるように環境を整えています。引き続きコロナ禍における就職活動の変化を見据えた支援を継続していきます。



リモートワークルーム（リンリンズBOX）／通信機器と照明器具／着替え室等を設置しています。

## 食 堂

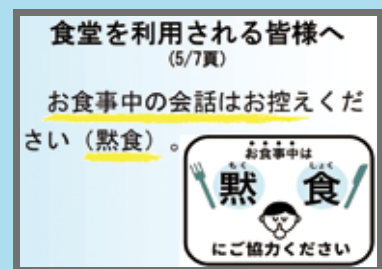
食堂では、学生の皆さんが安心・安全に食事が取れるよう手指消毒液の設置を含め、様々な感染防止対策を実施しています。今回はその一部をご紹介します。



カウンターにビニールカーテンを設置、ソーシャルディスタンスを保つ導線シールを設置



テーブルにパーティション（飛沫防止用）を設置



電子掲示板による注意喚起（黙食等）

## ウィズコロナ時代の大学院でのキャリアアップ

「先が見えない時代」の先を見据えて、大学院でキャリアアップはいかがですか

— いよいよ、公衆衛生学(MPH)コースが始動します！ —



健康科学研究科長  
佐藤 伸

未だおさまらないコロナ禍という今日、本学大学院では、オンライン形式を中心とした授業や研究を進め、大学院生の学修の機会が途切れないように努めています。さて、「先が見えない時代」だからこそ、今、「さらなる専門知識と確かな研究力を身につけたい」とお考えの皆さまに本学の大学院をご紹介します。

of Public Health) の学位を取得できるコースが始まります。ここでは、感染症などの健康危機管理、地域の人々の健康寿命の延伸や生活の質の向上といった今日の公衆衛生上の課題解決に向けた活動を担うリーダー的な人材を育成します。

### (1) 多職種との連携や専門分野を超えた学際的な研究力を身につけたい

本学大学院博士前期課程では、3つの学位を取得できます。修士(健康科学)、修士(看護学)、修士(社会福祉学)です。いずれの学位においても、所定の科目を受講し、自分自身の研究テーマを持ちつつ、多職種との連携をより意識した学びを深め、健康課題を的確に解決できる能力を養います。

そして、令和5年度から修士(公衆衛生学)(MPH: Master

### (2) 「がん看護専門看護師」の資格を取り、スキルアップしたい

県内で唯一のがん看護のスペシャリストの養成コースを開設しています。ここでは、がん医療に関わる高度な専門知識を身に付け、卓越した看護実践能力を養います。

### (3) 社会人なので、働きながら学びたい

遠方からでも自分のペースでじっくりと研究できるように、また働きながら学べるように、オンライン授業を行っています。単に、移動の時間や費用等の便宜を図るだけでなく、高度で豊富な修学の機会を提供しています。

### 研究室のご紹介

大学院の研究室では、どんな研究活動が行われているのでしょうか。一部をご紹介します。



大学院の「2023年度入学案内」パンフレットの内容をQRコードでご覧になれます。

准教授 村上 眞須美

保健・医療・福祉政策システム領域 看護システム研究室

当研究室では、看護ケアの質向上のためのしくみや医療従事者等の安全・健康、多職種連携など幅広いテーマの研究に取り組めます。私はこれまで「看護職のワークライフバランス」「災害の備え」の研究を行ってきました。現在は、ワークライフバランスを実現するためのマネジメントのあり方を研究しています。

当研究室は、看護職に限定せず様々な職種の方を受け入れているという特徴があります。今年は救急救命士の経験がある院生を迎えました。大学院での勉強、仕事や家庭など、自身でバランスを取りながら、研究活動も進めています。救急救命士のモチベーションや役割拡大など、救命現場での医療の質向上に貢献できる研究を目指しています。



久しぶりの対面ゼミ前の記念撮影  
(発表時はマスク着用しています)

教授 鳴井 ひろみ

対人ケアマネジメント領域 がん看護学研究室

がん看護学研究室では、住み慣れた地域でがん患者と家族が望む生活の実現に向けて、高度な看護実践を行うための看護を探究しています。

当研究室では、がん看護専門看護師(CNS)コースと研究コースの2つがあります。現在4名(博士前期:がん看護CNSコース3名、博士後期1名)の大学院生が各々の研究テーマに取り組んでいます。CNSコースの院生は、10単位の実習を経験し、専門看護師として現場での看護を改善し、根拠に基づいてケアを実践するための課題解決に向けた研究テーマに取り組んでおり、後期課程の院生は、再発・転移したがん患者がその人らしい人生を生き抜くための外来・地域の連携型支援モデルの構築に関する研究計画の検討を進めています。がんになっても安心して暮らせる社会の構築を目指しています。



ゼミのプレゼンテーションの様子

「臨床栄養で感じることを研究に」

臨床現場の管理栄養士・栄養士の方が、栄養管理や栄養指導をする中で思う「これがしたいんだけど、もっといい方法はないかな」に答えるのが本研究室です。開設2年目で、大学院生はまだ1名ですが、学部3、4年生と一緒にゼミに参加しています。臨床で芽生えた「病気があり、そのために食事に気を付けなければならないより多くの方に、正しい食事の情報を届けたい」という熱い思いを胸に、大学院生の方は入門しました。県外在住ですが、オンラインを活用し、距離を感じさせない積極的な研究活動をしています。臨床現場で抱く「これがしたいんだけど、もっといい方法はないかな」を解消し、それを自身の経験にとどめるだけでなく、学会や論文で広く報告したいと思う方は、お気軽にご相談ください。(r\_shimizu@auhw.ac.jp)



ゼミ風景：手前左は大学院生、右は筆者、奥4名は学部生（発表時はマスク着用しています）



本学の新たな取組

## 「公衆衛生学 (MPH) コース」

いよいよオープン間近です！

前号（2021年秋号）でもお伝えしましたが、大学院の新しいコースが来年度からスタートです。「青森県を丸ごとフィールドにして、世界で通用する公衆衛生力を身につける」をスローガンに準備も大詰めです。

そんな中、令和4年10月7日（金）～9日（日）の3日間にわたり、甲府市で開催された日本公衆衛生学会で、ブース出展を行って来ました。MPHコースPR動画とともに、各種パンフレットや募集要項等を設置しました（右下QRコードからもご覧ください）。

国などの新型コロナ感染症対策や専門家の教育にご活躍中の加来浩器教授（防衛医科大学校広域感染症疫学・制御研究部門）には、MPHコース関連科目「感染症管理論」をご担当いただく予定ですが、今回、ご著書を寄贈いただき、来訪された方々に無料配布させていただきました。

本学大学院も10月から本格的な受験シーズンに突入しています。MPHコースを含む大学院進学者のために、より充実したカリキュラム、環境となるよう教職員一同取り組んでおりますので、皆様ぜひご期待ください。

本ブースでのPRに関わる教職員（大野准教授、寺田主幹(教務学生課)、大西特任教授(プロジェクトリーダー)、吉池学長、古川教授)です。



■「公衆衛生」というのは、日本国憲法第25条で国が保証すべきとされる事項で、生活習慣病の予防、介護保険、感染症対策等、日本が抱える重要課題に取り組むための専門領域です。そのために国際的に必要とされる内容を体系的に学ぶことができます。

■豊かな自然に育まれた青森県を丸ごとフィールドとして、「地域の健康課題」と向き合いながら研究を進めていき、具体的な解決に向けた提言を行う力を身につけることができます。

日本の保健医療福祉の土台となる「公衆衛生」を深く学び、青森県、そして世界の人々のウェルビーイングに貢献しませんか！



## 就職活動支援

**キ**ャリア開発センターでは、日々変化する採用動向について常に情報収集し、学生の皆さんの就職活動を全力で支援しています。

年14回実施する就職活動セミナーでは、「自己分析」、「応募書類の書き方」、「面接対策」等、実際の就職活動で役立つ内容をタイムリーに取り上げています。また、学科毎に行う就職ガイダンスでは、本学の卒業生や就職活動を経験した学生を講師として、現在の仕事や職場のこと、就職活動や国家試験対策などの体験談を聞くことができます。毎回、参加者からは大変好評を得ています。ガイダンス終了後は、卒業生が在学生の個別相談にも応じています。この他にも公務員試験対策学内講座や個別相談等、学科や職種に応じたきめ細やかな支援を行っています。



就職ガイダンスの様子  
講師（卒業生）のオンライン参加にも対応

## 国家試験対策（社会福祉学科）

**社**会福祉学科では、学科内に教員による国家試験対策委員会を置き、自習室の確保及び参考書の配置など、勉強しやすい環境を整えている他、8月には前年度卒業生を招き、受験体験や勉強方法を報告してもらい、受験の動機付けを高めています。さらに10月に模擬試験受験を推奨し、12月にはその結果に基づき、苦手科目克服を目指した受験対策講座を開催しています。この他、ゼミによってはよりきめの細かい指導や独自の対策により合格に向けた支援がされています。

受験日が近づくにつれ、自習室には遅くまで勉強する学生の姿が見られます。本学科の高い合格率はこうした学生自身の努力によるものです。保護者のみなさまからも励ましをお願いいたします。



## Instagram 始めました



**青**森県立保健大学では、令和4年10月1日より、Instagramに公式アカウントを設け、土日祝日を除き、なるべく毎日の投稿を継続するように努力しています。現在投稿している「学生生活の紹介」「授業の紹介」「イベント等の周知・紹介」などに加え、「国家試験合格速報」や「就職率速報」なども投稿していく予定ですので、是非フォローしていただきますようお願いいたします。

URL : [https://www.instagram.com/aomori\\_hokendai/](https://www.instagram.com/aomori_hokendai/)



発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

**青森県立保健大学**

〒030-8505

青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 電話 017-765-2000(代表)・FAX 017-765-2188 URL <https://www.auhw.ac.jp/>